

令和4年度における
読書活動推進施策について
(報告)

令和5年6月

秋田県読書活動推進本部

目 次

I	はじめに	1
II	第3次基本計画の概要と施策推進状況	2
III	読書活動推進のための施策	3
1	家庭における読書活動の推進	
	(1) 県立図書館の利用促進に向けた体制の整備	3
	(2) 子どもの読書習慣づくり	4
	(3) 児童会館での子どもの読書活動の推進	5
	(4) 読み聞かせにお薦めの絵本の紹介	6
	(5) 生涯学習としての読書活動の奨励	6
	(6) 高齢者などへの読書支援	6
	(7) 「あきたブックネット」による情報発信	7
2	学校における読書活動の推進	
	(1) 幼稚園・保育所・認定こども園等	8
	(2) 小学校・中学校・高等学校等	8
	(3) 学校図書館	11
3	地域・職場における読書活動の推進	
	(1) 市町村	13
	(2) 民間団体	15
4	関係機関等との協働による読書活動の推進	
	(1) 秋田県読書活動推進連絡協議会の充実	16
	(2) 視覚障害者等の読書環境の整備の推進	16
	(3) 大学図書館と県立図書館の連携強化	17
	(4) 県内の大学等との連携	18
	(5) 外部機関等と連携した図書館利用促進	18
	(6) 「県民読書の日」の啓発	18
	(7) 「秋田県読書フェスタ」の開催	19
	(8) 県民の寄贈によるリサイクル文庫の普及	20
	(9) 高齢者への読書活動推奨	20
	(10) 書店団体等と連携した読書活動の推進	20
	(11) 雑誌スポンサー制度の充実	20
5	指標・実績一覧	22

I はじめに

読書活動は、県民が人生を豊かに生きる上で大切なものであり、文化的で豊かな社会の構築にも寄与することから、県では、「秋田県民の読書活動の推進に関する条例」（以下「条例」という。）を制定し、平成22年4月1日から施行している。

また、条例に基づき、平成23年3月に「秋田県読書活動推進基本計画」（以下「基本計画」という。）を策定し、5年ごとに改定しながら、読書活動の推進に関する施策を総合的・計画的に進めている。

本報告は、条例第4条第2項に基づき、第3次基本計画により令和4年度に実施した施策を議会に報告するため、その概要を取りまとめたものである。

○ 秋田県民の読書活動の推進に関する条例【抜粋】

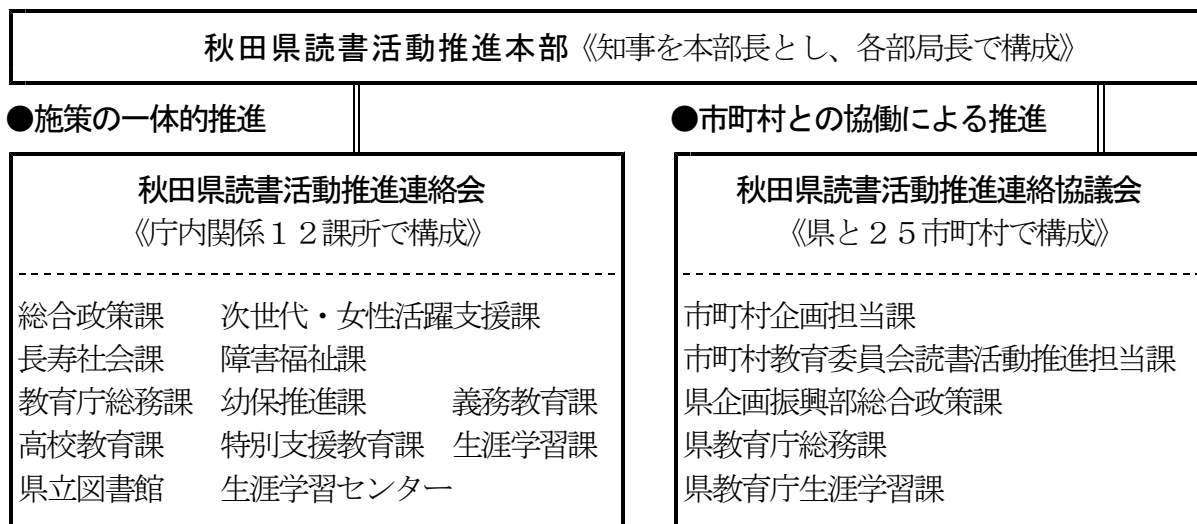
（県民読書活動推進基本計画）

第四条 県は、県民の読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、県民の読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「基本計画」という。）を策定するものとする。

- 2 県は、毎年、基本計画により実施した施策を議会に報告するものとする。
- 3 県は、必要があると認めるときは、基本計画を変更するものとする。

《 読書活動推進体制 》 令和4年4月1日現在

● 秋田県読書活動推進基本計画の進行管理



◎ 事務局

秋田県読書活動推進本部（秋田県企画振興部総合政策課県民読書推進班）
〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号
TEL:018-860-1216 FAX:018-860-3873 E-mail:seisaku@pref.akita.lg.jp
*公式ウェブサイト「あきたブックネット」
<http://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/31730>

Ⅱ 第3次基本計画の概要と施策推進状況

1 第3次基本計画の概要

- 計画期間 令和3年度から令和7年度までの5年間
- 基本目標 「生涯にわたって読書に親しみ、心豊かに」
- 施策の4つの柱
 - 1 家庭における読書活動の推進
 - 2 学校における読書活動の推進
 - 3 地域・職場における読書活動の推進
 - 4 関係機関等との協働による読書活動の推進

代表 指標	■各世代を通じて「読書が好きだ」と答える県民の割合 : (R7) 80%以上
	■各世代を通じて1日30分以上読書をしている県民の割合 : (R7) 70%以上

2 施策推進状況

- 県では、条例に基づき、第1次基本計画（平成23年度～27年度）により、県民の読書活動の推進に取り組み、「県民読書の日」の制定や県民参加の読書活動を展開した。
また、市町村立図書館や公民館図書室、学校図書館を拠点とする地域の読書環境の充実に努めたほか、全市町村で「子ども読書活動推進計画」を策定するなどの成果を上げてきた。
- 第2次基本計画（平成28年度～令和2年度）では、「家庭」、「学校」、「職場」、「地域」という県民の生活の場に応じて、県民の共感を高めながら施策を展開し、読書環境の整備としてスーパーやコミュニティスペースなど県民の身近な所に図書コーナーを設置する取組や、人づくりとして読書活動に携わるボランティアの育成等を進めた。
また、県公式ウェブサイトやSNS等を活用して読書に関する様々な情報を発信し、県民の読書意欲を喚起した。
- 第3次基本計画（令和3年度～7年度）では、読書は習慣付けが重要であることから、特に子どもの読書活動を積極的に推進するとともに、県民のライフステージ等に応じて、勉学、仕事、余暇活動など生活の様々な場面で気軽に読書をすることができる環境を整備するなど、基本目標である「生涯にわたって読書に親しみ、心豊かに」の達成に向けた施策を展開している。

Ⅲ 読書活動推進のための施策

1 家庭における読書活動の推進

(1) 県立図書館の利用促進に向けた体制の整備

① 各世代に対応した読書環境の整備

子育て中の親を対象とした「子育て情報コーナー」には出産・育児・絵本のガイドブックなど大人向けの本や、乳幼児向けのCD・絵本を置いたほか、中・高校生を対象とした「teens' コーナー」には小説、進路・部活・心や体についての本、各分野の中・高校生向けの入門書を置くなど、多様な読書環境を提供した。

また、「シニアコーナー」には、趣味・生き方・定年後の体験談といったシニア世代の活力となる本を集めるなど、各世代の読書の幅を広げ、図書館利用を促進した。

❖参考DATA

県立図書館の年間購入冊数：(R4) 14, 635冊

県立図書館の新規登録者数：(R4) 1, 698人

県立図書館の年間個人貸出冊数：(R4) 366, 018冊



▲子育て情報コーナー



▲teens' コーナー



▲生活支援コーナー(シニア)

② 県民の読書ニーズに対応できるサービス機能の強化

新型コロナウイルス感染防止の観点から、対面でのレファレンス・サービス※は休止しているが、県民の多様な読書ニーズに対応するため、各分野の参考資料等の充実を図り、電話やファックス等で寄せられるレファレンスに的確に対応できるよう、職員研修を実施し体制の整備を図るなど、レファレンス・サービス機能の強化に努めた。

※レファレンス・サービス

図書館で、資料・情報を求める利用者に対して行われる文献の紹介・提供等のサービス。

❖参考DATA

「レファレンス・サービスを知っている」と答える利用者の割合：(R4) 55.8%

「レファレンス・サービスに満足している」と答える利用者の割合：(R4) 93.5%

③ 秋田県立図書館デジタルアーカイブの活用促進

県内7施設が所蔵している資料等の情報を「秋田県立図書館デジタルアーカイブ※」により一元的に検索できるようアップロードを進め、県民への情報提供サービスを行った。

※秋田県立図書館デジタルアーカイブ

県立図書館、あきた文学資料館、博物館、近代美術館、埋蔵文化財センター、生涯学習センター、公文書館の全7施設が所蔵する資料の目録や画像情報を一元的に検索できるポータルサイト。

秋田県立図書館デジタルアーカイブ▶



❖参考DATA

登録データ数：(R4) 612, 398件(累計)

閲覧件数：(R4) 28, 244件

④ ウェブサイトやSNSを活用した情報発信

県立図書館の利用促進を図るため、図書館のサービスやイベント等の情報をウェブサイトやFacebookを活用して定期的に発信し、図書館の利用促進を図った。

また、図書館の利用経験が少なく利用に不安を持つ方々を主な対象として、図書館の各コーナーや本の探し方等の紹介をする動画を6本作成し、YouTubeチャンネルで公開した。

❖参考DATA

県立図書館ウェブサイトのアクセス数：(R4) 246, 411件

県立図書館Facebookページのフォロワー数：(R4) 166人



▲県立図書館ウェブサイト



▲県立図書館Facebookページ

YouTubeチャンネルでの動画配信▶



(2) 子どもの読書習慣づくり

① 県立図書館の「えほんのへや」「調べ学習コーナー」では、季節に合わせた月替わりの絵本展示や、「こどもの読書週間」(4/23~5/12)、夏休み期間に合わせた児童書の展示を行い、子どもとその保護者の図書館利用を促進した。

また、利用しやすいよう書架の見出しや排架に工夫をしたり、普段は手に取られにくい本を展示資料として活用し、様々な本との出会いを提供した。

② 新型コロナウイルス感染症の影響で休止していた県子ども読書支援センター※支援員（読書ボランティア）によるおはなし会は12月から再開し、毎月1回第3日曜日に開催した。

子ども読書アドバイザー等による読書相談は、電話やメールのほか対面の相談も6月から再開し、「えほんのへや」を訪れた親子にお薦めの絵本を紹介するなど積極的に対応した。

また、支援員が作成した年齢別・テーマ別のお薦め本リストを更新して提供するなど、子どもの年齢や興味・関心に応じた読書ができるよう、子どもの周りにいる大人に対しても支援を行った。

※県子ども読書支援センター

子どもの読書活動に関する広報、啓発、調査研究活動や各種イベントの開催を行うことを目的に県立図書館内に設置されている。「えほんのへや」で子どもの読書に関する相談を受け付けるほか、県内の読書ボランティア団体や学校図書館、幼稚園・保育所・認定こども園等を対象に読み聞かせ資料の貸出し等も行っている。

❖参考DATA

読書相談件数：（R4）299件

おはなし会実施回数：（R4）4回

おはなし会参加人数：（R4）41人



▲支援員によるおはなし会



▲支援員お薦め本展示

（3）児童会館での子どもの読書活動の推進

県子ども読書支援センターが県児童会館図書室に児童書の貸出しを行ったほか、子ども読書アドバイザーが定期的に県児童会館図書室の運営に関する相談等の支援を行い、子どもの読書に親しむ環境の整備を行った。

❖参考DATA

資料貸出冊数：（R4）450冊

(4) 読み聞かせにお薦めの絵本の紹介

親子の読み聞かせを通じて読書の楽しさを広げるため、0歳から小学校低学年までの児童を対象とした読み聞かせに適した絵本を選定し、デジタルブック「あふれちゃんのえほんばこ」等により推奨するとともに、毎週土曜日の秋田魁新報読書欄やあきたの結婚・子育て応援情報ウェブサイト「いっしょにねっと。」、Twitter「あきた子育て情報いっしょにねっと」や「あきたブックネット」で紹介したほか、県児童会館の図書室で選定絵本の貸出しを行った。



▲県児童会館2F図書室にて
貸出しを行っている絵本



▲あふれちゃんのえほんばこ2022

(5) 生涯学習としての読書活動の奨励

県民の総合的な生涯学習講座「あきたスマートカレッジ」の中で、「北条常久特別企画講座」（全8回）を開催し、テーマに沿った作品を紹介するとともに、県立図書館にコーナーを設けてもらうなど、連携した取組も行った。

また、講座受講者が中心となって発足した自主学習グループが、読書に関する講座を開催した。



▲北条常久特別企画講座



▲作品の展示

(6) 高齢者などへの読書支援

「大活字本コーナー」では、小さな活字が読みにくい方のために、大きな活字（大活字）で書かれた本を置いているほか、拡大鏡、老眼鏡、リーディングルーペ等の館内貸出しも行っている。

また、インターネット環境がない高齢者等であっても「ふるさと秋田文学賞」の受賞作品を読むことができるよう、作品本文のコピーを郵送するサービス（送料は本人負担）を行い、4件の利用があった。

読書が困難な高齢者等をサポートするボランティア活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少しているが、回復傾向にある。

❖参考DATA

電話（対面）朗読ボランティア活用者数：（R4）4人

(7) 「あきたブックネット」(ウェブサイト、SNS)による情報発信

家族で読書を楽しみ、読書習慣の形成と家族間のコミュニケーションを図るため、小学校新入生を対象として配付してきたパンフレット「家族で読書おすすめ50選 vol. 2」をウェブサイトに掲載し、家族で行う読書活動を推奨した。

また、若者を中心とした県民の読書意欲を喚起するため、Twitterやウェブサイトを活用し、まちなかBOOKリーダー（本に関連した特長のある取組を行っている人）や県内公立図書館の情報を紹介したほか、県にゆかりのある作家のサイン本等をプレゼントする「冬はほっこり。県民読書推進キャンペーン2023」を実施し、県民の読書活動を推進した。



▲本に関連したお店の取組等をTwitterで紹介



▲冬はほっこり。県民読書推進キャンペーン2023

❖参考DATA

Twitter「あきたブックネット」のアクセス数：（R4）488,881件

2 学校における読書活動の推進

(1) 幼稚園・保育所・認定こども園等

① 幼稚園・保育所・認定こども園等における読み聞かせの促進

幼稚園・保育所・認定こども園等の訪問時において、教材としての「絵本」の意義の確認や、子どもが喜んで「絵本」に関わるための環境の構成や援助の在り方のサポートなど、各施設の状況に応じた指導・助言を行った。

また、新規に採用された保育士等を対象に、絵本の持つ役割や読み聞かせへの理解を深められるよう、子どもの発達や興味・関心に応じた意図のある選書、絵本に込められた作者・画家の思いや背景を理解する必要性、子どもにとっての絵本の役割や意味等を学ぶ研修を実施した。

○新規採用者研修

開催日 令和4年11月8日(火) オンラインでの開催

講師 田丸 美穂氏 (県子ども読書支援センター・子ども読書アドバイザー)

参加者数 187名

❖参考DATA

新規採用者研修受講者の肯定的評価：(R4) 92.5%

(2) 小学校、中学校、高等学校等

① 子どもの発達の段階に応じた読書活動の推進

ア 小・中学校における取組

教科等の学習における学校図書館の活用や教育活動における読書活動の充実が図られるよう、学校訪問等により指導・援助を行った。

また、ボランティアや上級生による読み聞かせ、児童・生徒による書籍の紹介、「家庭読書の日」の実施等、児童・生徒の発達の段階に応じた読書活動支援に関わる先進的な取組について情報提供を行うことで、各学校での読書活動を支援した。

❖参考DATA

(令和4年度全国学力・学習状況調査)

「読書が好き」と答える児童の割合(小学校6年生)：(R4) 76.6%

「読書が好き」と答える生徒の割合(中学校3年生)：(R4) 76.3%

(令和4年度秋田県学習状況調査)

週に1回以上学校図書館等に行く児童の割合(小学校6年生)：(R4) 12.0%

イ 高等学校における取組

読書への意識啓発と図書委員会※の主体的な活動の充実を図るとともに、家庭科の学習等において、絵本の読み聞かせの実習を奨励するなど、将来、親になったときに子どもに読み聞かせをすることの意義について理解を深めた。

図書館活性化モデル校の先進的な取組について、協議会等で情報共有を図るとともに、学校訪問の機会に情報提供を行った。

※図書委員会

生徒会活動の一つで、学校図書館に関する活動を行う委員会。

❖参考DATA

1か月に1回以上学校図書館を利用する生徒の割合：(R4) 18.3%

1か月に本を1冊以上読む生徒の割合：(R4) 58.7%

ウ 特別支援学校における取組

読書への興味・関心を高めるとともに、読書活動の充実が図られるよう、学校訪問等の機会に、読書活動の意義について情報提供した。

各校では、幼児・児童・生徒の興味・関心や季節行事に合わせた図書、お薦めの新刊等を展示し、読書環境の充実を図った。

また、地域のボランティアによる読み聞かせや、校内における幼児・児童・生徒の読み聞かせ活動により、図書に親しむ機会の拡充を図った。



▲紹介コーナー：
お薦め図書の展示

❖参考DATA

校内の読書環境の整備と改善に毎月取り組んでいる学校の割合：(R4) 86.7%

図書を活用した他の学校や地域の人々との交流により、本に親しんだ幼児・児童・生徒の割合：(R4) 27.3%

② 「ビブリオバトル」の普及と大会開催

中高生を対象に、コミュニケーションによって本の面白さや魅力を共有し、読書のきっかけづくりとするため、発表者（バトラー）が紹介したお薦め本の中から、「一番読みたくなった本（チャンプ本）」を参加者全員が投票で決める「ビブリオバトル」を行った。

10月から11月にかけて県内7か所で地区大会を開催し、11月23日に地区大会を勝ち抜いた生徒たちによる県大会を開催した。

県大会の参観者を対象としたアンケートでは、「本の紹介が上手で、全ての本が

読みたくなかった」などの好意的な意見が多かったほか、会場に展示した歴代チャンプ本・準チャンプ本を手にする参観者も多く、ビブリオバトルや読書に対する関心を高める機会となった。

また、令和4年度から県大会開催後にその様子を動画配信し、読書活動の推進とビブリオバトルの更なる周知に努めている。



▲ビブリオバトル秋田県大会に出場した中高生バトルー



▲歴代チャンプ・準チャンプ本の展示



◀美の国あきたネット内「ビブリオバトル in AKITA」

○開催状況

〈地区大会〉 出場者合計 78名（中学生43名、高校生35名）

地区	月日	会場	出場者数
北鹿	10月29日(土)	大館市立中央公民館	中学生 7名、高校生 3名
能代	11月3日(木・祝)	能代市立能代図書館	中学生 6名、高校生 5名
秋田	10月16日(日)	ふれあーるAKITA	中学生 5名、高校生 9名
由利本荘	10月15日(土)	由利本荘市文化交流館カダーレ	中学生 1名、高校生 8名
大仙	10月22日(土)	花火伝統文化継承資料館はなび・アム	中学生 6名、高校生 1名
横手	10月23日(日)	横手市交流センターY ² ぷらざ	中学生13名、高校生 2名
湯沢	10月30日(日)	湯沢市役所	中学生 5名、高校生 7名

〈秋田県大会〉 11月23日(水・祝) 秋田拠点センターアルヴェ
各地区大会代表の14名(中学生7名、高校生7名)が出場
中学生チャンプ、高校生チャンプはビブリオバトル全国大会(活字文化推進会議主催)への出場権を獲得

○ビブリオバトル 2022 in AKITA (秋田県大会) で紹介された本

【中学生の部】

「むらさきのスカートの女」(今村 夏子/著 朝日新聞出版) **チャンプ本**

「かがみの孤城 上・下」(辻村 深月/著 ポプラ社) **準チャンプ本**

「同志少女よ、敵を撃て」(逢坂 冬馬/著 早川書房)

「府中三億円事件を計画・実行したのは私です。」（白田／著 ポプラ社）

「52ヘルツのクジラたち」（町田 そのこ／著 中央公論新社）

「猫のお告げは樹の下で」（青山 美智子／著 宝島社）

「ひまわりは恋の形」（宇山 佳佑／著 小学館）

【高校生の部】

「告白」（湊 かなえ／著 双葉社） **チャンプ本**

「むかしむかしあるところに、死体がありました。」（青柳 碧人／著 双葉社）

準チャンプ本

「ある殺人鬼の独白」（二宮 敦人／著 TOブックス）

「ツナグ」（辻村 深月／著 新潮社）

「死亡フラグが立ちました！凶器は…バナナの皮！？殺人事件」

（七尾 与史／著 宝島社）

「僕が恋した、一瞬をきらめく君に。」（音 はつき／著 スターツ出版）

「バクテリア・ハザード」（高嶋 哲夫／著 集英社）

（3）学校図書館

① 学校図書館の活性化支援

ア 学校訪問による読書活動支援

小、中、高等学校、特別支援学校合わせて19校の学校図書館を訪問し、学習活動の支援の在り方や校内の推進体制について指導・助言を行うとともに、特徴的な実践例の紹介や改善のための情報提供を行った。

イ 担当教職員等への研修による支援

小、中、高等学校の司書教諭や学校司書等を対象とした研修会に読書活動指導監等を派遣し、研修支援を行った。

② 県立図書館の学校図書館等への支援

ア 学校図書館の環境整備と研修機会の提供

学校図書館支援用の図書セット資料について、高等学校・特別支援学校の図書担当者からリクエストを受けて更新を行い、児童・生徒の読書環境を整備したほか、生徒の学習等に必要な図書の貸出しリクエストにも個別に応じた。

また、学校図書館の担当職員・図書委員に向け「あきたの文学」に関する講話を開催したほか、図書委員同士の交流が進むよう情報交換の場面を設けるなど、学校図書館の活用が進むよう継続した支援を行った。

○学校図書館職員等研修会

開催日 令和4年7月26日（木）オンラインでの開催

内容 「秋田の文学を知ろう」参加校の情報交換

参加者数 教職員・生徒合計 31名

❖参考DATA

学校図書館への年間貸出冊数：（R4）19,615冊



▲特別支援学校図書館内の
県立図書館コーナー



▲学校図書館職員等研修会

イ 図書館利用と読書への興味・関心を高める取組

小、中、高等学校、特別支援学校のセカンドスクールの利用※は、児童・生徒に対し、図書館の仕事や役割についての理解を深めるとともに、読書に対する関心を高める取組を行った。

また、特別支援学校を対象に、児童・生徒が密を避けた環境で気兼ねなく図書館を利用することで読書への意欲を高め、将来の図書館利用の基礎を学ぶことができるよう「休館日を活用した図書館見学」を実施した。

※セカンドスクールの利用

児童・生徒が学校を離れた場所で、様々な自然体験や社会体験を行う授業で、図書館においては、図書館職員の仕事の体験を行う。

❖参考DATA

「セカンドスクールの利用等の取組に満足した」と答える児童・生徒・学生の割合
：（R4）100%

「図書館の仕事・役割を理解した」と答える児童・生徒・学生の割合
：（R4）100%



▲セカンドスクールの利用（職場体験・読書体験）▲

3 地域・職場における読書活動の推進

(1) 市町村

① 市町村立図書館等の機能の充実に向けた支援

ア 資料貸出しや情報提供による支援

県立図書館の市町村立図書館等専用の図書セット資料を準備し、県子ども読書支援センターの資料と併せて貸し出すなどにより、住民の図書館利用や読書活動を支援した。

また、市町村立図書館等を訪問して図書館運営・サービスに関する相談への助言等を行ったほか、新型コロナウイルス感染症による影響等について情報交換を行った。

❖参考DATA

市町村立図書館等の年間個人貸出冊数：(R4) 2, 203, 013冊

市町村立図書館等への年間貸出冊数：(R4) 16, 075冊

市町村立図書館等の相談件数：(R4) 107件



▲セットを活用した図書館内の展示



▲市町村立図書館向けセット

イ 市町村立図書館等職員の育成

市町村立図書館等の職員を対象に、初任者や実務者向けなど対象者に応じた研修や、学校図書館との連携やICTを活用した図書館事例に関する研修など、普段の業務にすぐに生かせる内容の研修メニューを用意し、オンライン会議システムを活用して実施した。

❖参考DATA

「満足した」と答える参加者の割合：(R4) 95.2%



▲初任者研修会
(会場とオンラインの併催)



▲市町村立図書館等職員研修会
(オンライン開催)

ウ 課題解決のための読書や図書館利用の促進

県立図書館や市町村立図書館等において、健康や介護、法律など生活や仕事に関する課題のほか地域課題の解決に向けた資料整備を行うとともに、関係機関のパンフレットを提供することなどにより、関連コーナーの充実を図った。

また、県内の市町村立図書館等に対し、他館で実施されている課題解決支援サービスについての情報提供を行った。



▲県立図書館閲覧室内にある
「ビジネス支援コーナー」

❖参考DATA

「取組を知っている」と答える利用者の割合：(R4) 73.3%
 「取組に満足している」と答える利用者の割合：(R4) 81.2%
 市町村立図書館等のサービス実施館数：(R4) 59館

② 「子ども読書の日」の周知と取組の推進

4月23日の「子ども読書の日」啓発ポスターを幼稚園や学校、社会教育施設等に配布して周知を図るとともに、各市町村に対し「子どもの読書週間」における子どもが読書に親しむイベントの実施を働き掛けた。



2022年度「子ども読書の日」ポスター→

❖参考DATA

実施市町村数と取組件数：(R4) 21市町村 113件

○子ども読書の日

「子どもの読書活動の推進に関する法律」で4月23日が「子ども読書の日」と定められている。

これは、シェイクスピア（英国）とセルバンテス（スペイン）の命日である4月23日をユネスコが「世界・本と著作権の日」と宣言していることにちなむ。

○サン・ジョルディの日

日本では出版関係団体が、4月23日を親しい人に本を贈る「サン・ジョルディの日」として呼び掛けている。

（サン・ジョルディはスペインの守護聖人名。カタルーニャ地方では命日に本の市が立ち、花と共に本を贈り合う習慣がある。）

（2）民間団体

① 読書ボランティア等への支援

市町村立図書館や学校図書館等において、読み聞かせ等を行うボランティアを養成するための研修を県内3地区で実施した。

各地域で活動している読み聞かせボランティアを講師に迎えることで、講座修了後の参加者の活動についてサポートできるようにした。

また、0歳から小学校低学年までの子どもへの読み聞かせに適した絵本を紹介したリーフレット「あふれちゃんのえほんばこ」（次世代・女性活躍支援課作成）を講師と受講者に配付し、併せて県子ども読書支援センターの利用について案内した。

実施時期が新型コロナウイルス感染症第7波と重なり、例年と比べて受講者数が少なかったものの、高校生38名のほか、読み聞かせボランティア、学校司書、学童保育指導員といった方の受講があり、これから子どもの読書活動を推進していく若い世代と、既に子どもの読書活動に携わっている方々が互いに学び合う機会となった。

○読み聞かせボランティア養成講座

地区	月 日	会 場	参加者数
県北	8月28日（日） 9月10日（土）	能代市立能代図書館	19名
中央	8月 7日（日）・ 8日（月）	秋田県立図書館	14名
県南	8月 8日（月）・ 10日（水）	横手市交流センターY ² ぷらざ	19名



▲県北地区



▲中央地区



▲県南地区

読み聞かせボランティア養成講座

② 読み聞かせ団体等への活動支援

県内の読み聞かせ団体等の活動を支援するため、県立図書館と県子ども読書支援センターからボランティア団体等へ資料を貸し出した。

❖参考DATA

県立図書館からボランティア団体等への資料貸出：(R4) 679冊

県子ども読書支援センターからボランティア団体等への資料貸出：(R4) 5,993冊



▲子ども読書支援センター資料の発送準備



▲様々な種類の読み聞かせ資料

4 関係機関等との協働による読書活動の推進

(1) 秋田県読書活動推進連絡協議会の充実

「秋田県読書活動推進連絡協議会」の地区会議を開催し、県民の読書環境の充実に向けた意見交換や優良事例の共有を行い、県と市町村が協働して地域における読書活動の推進に取り組んだ。

○令和4年度秋田県読書活動推進連絡協議会の概要

[構成]

市町村 企画担当課長(副会長:任期2年)、教育委員会読書活動推進担当課長

県 総合政策課長(会長)、教育庁総務課長、生涯学習課長

[地区会議の開催]

県北地区 令和4年8月3日(水)北秋田市

県央地区 令和4年7月15日(金)五城目町

県南地区 令和4年7月13日(水)仙北市

(2) 視覚障害者等の読書環境の整備の推進

① 視覚障害者等の図書館利用に係る体制の整備

図書館内の読書バリアフリー環境の整備を進めるため、マルチメディアデイジー図書※、さわる絵本、手話の本等を整備し関連資料の充実を図った。

また、視覚障害者等の区分による利用者に対しては、視聴覚資料の貸出期間を通常より長い22日間としたほか、宅配サービスの対象となる資料の種類を増やし、図書館の資料を利用しやすい環境の整備に努めた。

※デージー図書

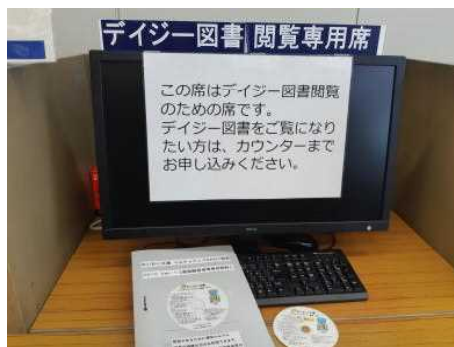
デージー（DAISY）とは、「Digital Accessible Information System」の略で、デジタル録音図書の国際標準規格のこと。デージー図書は、通常の印刷物を読むことが困難な視覚障害者等を対象に、カセットテープに代わるものとして、この規格により開発されたデジタル録音図書。

❖参考DATA

「障害者サービスを知っている」と答える利用者の割合：（R4）52.3%
 障害者サービス利用登録者数：（R4）1人



▲県立図書館閲覧室内のバリアフリーコーナー



▲デージー図書を閲覧するための専用席

② 視覚障害者等の秋田県点字図書館の利用に係る体制の整備

障害者の読書機会の充実を目指して、県点字図書館においてボランティアを中心に点字図書や音声図書等の製作を行い、視覚障害者への図書提供サービスの向上に努めた。

❖参考DATA

点字図書・音声図書等の製作数・貸出数（R4）

製作	点字図書	：	544タイトル	音声図書	：	192タイトル
貸出し	点字図書	：	1,364タイトル	音声図書	：	6,292タイトル
	定期行物	：	9,277タイトル			

（3）大学図書館と県立図書館の連携強化

県立図書館と相互協力協定を締結している大学図書館（秋田大学、秋田県立大学、国際教養大学）との間で、各館の所蔵資料を利用者が活用できるよう、相互貸借を推進した。

また、オンライン会議システムを活用して各施設の情報や最新の話題等を共有し、相互に情報交換を行った。

❖参考DATA

大学図書館との相互貸借の年間貸出冊数：（R4）153冊

大学図書館との相互貸借の年間借受冊数：（R4）58冊

（4）県内の大学等との連携

大学生の読書への興味・関心を高めるため、秋田大学と連携し、Twitterを活用して学生の企画による情報発信を行ったほか、県が主催する読書啓発イベントの運営に学生が参画した。



大学生によるTwitterを活用した情報発信▶

（5）外部機関等と連携した図書館利用促進

県立図書館の情報提供機能を一層充実させるため、県の関係機関等と連携した展示等を行った。

また、県立図書館の所蔵する資料が、県立図書館以外でも利用できるよう連携先の団体へ貸出しを行い、県立図書館コーナーの設置や定期的な図書の展示等を行った。

❖参考DATA

外部機関等への貸出冊数：（R4）2,623冊

イベントの開催回数：（R4）45回



▲象潟郷土資料館と連携した特別展示



▲秋田大学附属病院内の
県立図書館コーナー

（6）「県民読書の日」の啓発

県民の読書に親しむ気運を高めるため、11月1日の「県民読書の日」記念事業として創設された「ふるさと秋田文学賞」を実施し、受賞作品集を刊行した。

また、10月16日、読書と親和性のある知名度の高いタレントによるトークイベントとして、芥川賞作家の又吉直樹さんをゲストに迎え「又吉さんと楽しく読書トークライブ」を開催した。



又吉さんと楽しく読書トークライブ▶

○第9回「ふるさと秋田文学賞」

○受賞作品

【小説の部】

《ふるさと秋田文学賞》

クリームシチュー 青山 トーゴ（東京都台東区）

《同 佳作》

浮遊する水 山本 郁人（埼玉県北葛飾郡）

千束立つ日陰の月花 山本 愛海（静岡県湖西市）

【エッセイ・紀行文の部】

《ふるさと秋田文学賞》

該当作なし

《同 佳作》

方程式のない斑紋 石山 敦子（秋田市）



第9回ふるさと秋田文学賞受賞作品集▲

○応募状況

応募作品数 142点

（小説65点 エッセイ・紀行文77点、県内43点 県外99点）

❖参考DATA

「県民読書の日」を知っていると答える参加者の割合：（R4）71.2%

（7）「秋田県読書フェスタ」の開催

11月1日の「県民読書の日」を含む10月15日（土）から11月3日（木・祝）までの約2週間を「秋田県読書フェスタ」期間とし、県主催事業として中学生・高校生ビブリオバトル大会等を開催した。

そのほか、市町村の図書館・公民館等では、子どもから大人まで幅広い世代の県民が読書に親しむ機会を持てるよう、季節に合わせた図書展示や乳幼児期の読書の大切さについて学ぶ講座、図書館の裏側探検、古本バザールなど様々な読書イベントが行われた。

❖参考DATA

実施市町村数と取組件数：（R4）18市町村194件

(8) 県民の寄贈によるリサイクル文庫の普及

子どもたちの身近な場所での読書環境づくりや、大人の読み聞かせを進めるため、県民から寄贈された絵本や児童書を手入れした上で、配付を希望する保育所や児童クラブ等へ届け、読書の楽しさをリレーする取組を行った。



「読んだッatch・リレー文庫」のポスター→

◆参考DATA

リサイクル文庫の設置先数（累計）：（R4）909か所

(9) 高齢者への読書活動推奨

大活字本等の紹介を予定していたイベントが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、紹介を行うことが難しかったが、Twitter「あきたブックネット」を活用して周知を行った。

◆参考DATA

「1日平均30分以上読書をしている」と答える70歳以上の割合：（R4）52.9%

(10) 書店団体等と連携した読書活動の推進

県内の書店等の協力を得て、「あきたレビュー大賞2022」を開催し、優秀な書評をウェブサイトに掲載してPRすることで、県民の読書意欲を喚起した。



あきたレビュー大賞2022のポスター→

(11) 雑誌スポンサー制度の充実

民間企業等が雑誌スポンサー※となって、県立図書館や市町村立図書館へ雑誌の提供を行い、雑誌コーナーの充実を図った。また、県立図書館ではスポンサー企業に図書館資料の選定に当たって協力依頼し、各企業の専門的な知識を生かした資料の購入を行った。

県立図書館では、寄贈雑誌のカバーでの広告のほかに、雑誌スポンサー紹介コーナーでのスポンサー企業紹介展示等を行っている。

※雑誌スポンサー

図書館の雑誌に民間企業等の情報発信を組み込み、雑誌コーナーの充実を図ることを目的とした雑誌寄贈の制度。選書は図書館で行い、スポンサー企業は購入費を負担する。対象となる雑誌に専用力バーを取り付け、スポンサーとなっている企業名や広告を表示するなどの方法で、企業活動を図書館利用者に周知することができる。

❖参考DATA

公立図書館（県立図書館・市町村立図書館等）のスポンサー企業数：（R4）77企業



▲雑誌スポンサー紹介コーナー



▲雑誌コーナー

5 指標・実績一覧

	施策	指標	R2基準値	R4実績値	R7目標値	ページ
1	各世代に対応した読書環境の整備	県立図書館の年間購入冊数	(R元) 14,063冊	14,635冊	15,000冊	3
2		県立図書館の新規登録者数	(R元) 2,067人	1,698人	2,300人	3
3		県立図書館の年間個人貸出冊数	(R元) 361,658冊	366,018冊	400,000冊	3
4	県民の読書ニーズに対応できるサービス機能の強化	「レファレンス・サービスを知っている」と答える利用者の割合	(R元) 53.1%	55.8%	60.0%	3
5		「レファレンス・サービスに満足している」と答える利用者の割合	(R元) 84.0%	93.5%	90.0%	3
6	秋田県立図書館デジタルアーカイブの活用促進	登録データ数	(R元) 605,687件	612,398件	615,000件	4
7		閲覧件数	(R元) 33,557件	28,244件	40,000件	4
8	ウェブサイトやSNSを活用した情報発信	県立図書館ウェブサイトのアクセス数	(R元) 235,195件	246,411件	270,000件	4
9		県立図書館Facebookページのフォロワー数	(R元) 118人	166人	500人	4
10	子どもの読書習慣づくり	読書相談件数	(R元) 332件	299件	350件	5
11		おはなし会実施回数	(R元) 23回	4回	24回	5
12		おはなし会参加人数	(R元) 663人	41人	720人	5
13	児童会館での子どもの読書活動の推進	県子ども読書支援センターから県児童会館図書室への資料貸出冊数	(R元) 593冊	450冊	1,000冊	5
14	高齢者などへの読書支援	電話(対面)朗読ボランティア活用者数	(R元) 22人	4人	50人	7
15	「あきたブックネット」による情報発信	Twitter「あきたブックネット」のアクセス数	(R元) 1,510,644件	488,881件	2,100,000件	7
家庭における読書活動の推進 小計15項目						
16	幼稚園・保育所・認定こども園等における読み聞かせの推奨	新規採用者研修受講者の肯定的評価	90.0%	92.5%	93.0%	8
17	小・中学校における取組	「読書が好き」と答える児童の割合(小学校6年生)	(R元) 82.0%	76.6%	82.0%	8
18		「読書が好き」と答える生徒の割合(中学校3年生)	(R元) 76.6%	76.3%	80.0%	8
19		週に1回以上学校図書館等に行く児童の割合(小学校6年生)	(R元) 23.9%	(12.0%)	30.0%	8
20		週に1回以上学校図書館等に行く生徒の割合(中学校3年生)	(R元) 7.6%	調査中止	20.0%	-

※19 週に1回以上学校図書館等に行く児童の割合(小学校6年生)は参考値(国調査がR2で終了したため、同じ内容の県調査から引用した)。

	施策	指標	R2基準値	R4実績値	R7目標値	ページ
21	高等学校における取組	1か月に1回以上学校図書館を利用する生徒の割合	20.1%	18.3%	40.0%	9
22		1か月に本を1冊以上読む生徒の割合	61.4%	58.7%	70.0%	9
23	特別支援学校における取組	校内の読書環境の整備と改善に毎月取り組んでいる学校の割合	(R元) 73.0%	86.7%	95.0%	9
24		図書を活用した他の学校や地域の人々との交流により、本に親しんだ幼児・児童・生徒の割合	(R元) 60.0%	27.3%	95.0%	9
25	学校図書館の環境整備と研修機会の提供	学校図書館への年間貸出冊数	(R元) 18,169冊	19,615冊	20,000冊	12
26	図書館利用と読書への興味・関心を高める取組	「セカンドスクールの利用等の取組に満足した」と答える児童・生徒・学生の割合	(R元) 90.2%	100.0%	100.0%	12
27		「図書館の仕事・役割を理解した」と答える児童・生徒・学生の割合	(R元) 100.0%	100.0%	100.0%	12
学校における読書活動の推進 小計12項目						
28	資料貸出や情報提供による支援	市町村立図書館等の年間個人貸出冊数	(R元) 2,371,796冊	2,203,013冊	2,500,000冊	13
29		市町村立図書館等への年間貸出冊数	(R元) 21,319冊	16,075冊	23,000冊	13
30		市町村立図書館等の相談件数	(R元) 125件	107件	220件	13
31	市町村立図書館等職員の育成	「満足した」と答える参加者の割合	(R元) 98.3%	95.2%	100.0%	13
32	課題解決のための読書や図書館利用の促進	「取組を知っている」と答える利用者の割合	(R元) 65.5%	73.3%	80.0%	14
33		「取組に満足している」と答える利用者の割合	(R元) 64.0%	81.2%	80.0%	14
34		市町村立図書館等のサービス実施館数	(R元) 56館	59館	60館	14
35	「子ども読書の日」の周知と取組の推進	実施市町村数と取組件数	25市町村 176件	21市町村 113件	25市町村 200件	14
36	読み聞かせ団体等への活動支援	県立図書館からボランティア団体等への資料貸出	(R元) 713冊	679冊	800冊	16
37		県子ども読書支援センターからボランティア団体等への資料貸出	(R元) 5,648冊	5,993冊	6,000冊	16
38	企業内文庫の普及啓発	「1日平均30分以上読書をしている」と答える20～60歳代の割合	40.7%	40.2%	70.0%	-
地域・職場における読書活動の推進 小計11項目						

	施策	指標	R2基準値	R4実績値	R7目標値	ページ
39	視覚障害者等の図書館利用に係る体制の整備	「障害者サービスを知っている」と答える利用者の割合	-	52.3%	50.0%	17
40		障害者サービス利用登録者数(累計)	-	1人	50人	17
41	視覚障害者等の秋田県点字図書館の利用に係る体制の整備	図書の製作数	(R元) 294タイトル	736タイトル	350タイトル	17
42		図書の貸出数	(R元) 7,408タイトル	7,656タイトル	7,700タイトル	17
43	大学図書館と県立図書館の連携強化	大学図書館との相互貸借の年間貸出冊数	(R元) 303冊	153冊	350冊	18
44		大学図書館との相互貸借の年間借受冊数	(R元) 52冊	58冊	60冊	18
45	外部機関等と連携した図書館利用促進	外部機関等への貸出冊数	(R元) 1,388冊	2,623冊	1,500冊	18
46		イベントの開催回数	(R元) 61回	45回	60回	18
47	「県民読書の日」の啓発	「県民読書の日」を知っていると答える参加者の割合	(R元) 84.8%	71.2%	90.0%	19
48	「秋田県読書フェスタ」の開催	実施市町村数と取組件数	21市町村 197件	18市町村 194件	25市町村 200件	19
49	県民の寄贈によるリサイクル文庫の普及	リサイクル文庫の設置先数(累計)	(R元) 853か所	909か所	1,050か所	20
50	高齢者への読書活動推奨	「1日平均30分以上読書をしている」と答える70歳以上の割合	56.6%	52.9%	70.0%	20
51	雑誌スポンサー制度の充実	公立図書館(県立図書館・市町村立図書館等)のスポンサー企業数	(R元) 80企業	77企業	90企業	21
関係機関等との協働による読書活動の推進 小計13項目						



© 2015 秋田県んだッチ